

Masaru Shimano

期待背負い2期目の嶋野町政スタート
福智町誕生後4度目の町長選挙が3月4日に行われ、現職の嶋野町長が多くの支持を得て2度目の当選を果たしました。4年間の業績を評価され、さらなる期待の中スタートする2期目への思いを伺いました。

地域再生をテーマに誇りある町を創る



PROFILE

福智町弁城出身、60歳。
法政大学卒。山一證券退社後、地元で学習塾「青雲塾」設立。
福智町教育委員会教育長を経て、平成26年に町長に初当選し、今回再選を果たす。
田川郡町村会副会長に就任。

施策の決断と実行は首長の覚悟次第

——目指す嶋野町政について
地域と行政との連携による「地域再生」がテーマです。地域が元気になり、絆がしっかりしていれば、子育て・教育、介護・福祉、防災が、地域内で機能していきます。そのためにも、信頼の構築と地域リーダーの育成が必要だと考えています。まちづくりにおいても地域の特性を活かした政策を進めていきます。
一方で、町が「稼ぐ力」を高め、財政基盤をしっかりと確保した上で、教育や福祉の充実に積極的に取り組んでいく。私は施策の決断と実行は、首長の覚悟次第であると痛

感しています。全国的な人口減少や財政難の中、これからは民間の力をどう導入できるかも重要です。内政も対外的な行政においても福智町の誇りとプライドをもって向き合い、対応していきます。
まずは、共働き家庭の子が急病になった際の病児保育、車を運転

できない高齢者が多い地区への移動販売車巡回事業は、早急の実施したいと考えています。

——今後の福智町について
私の目指す町政は、福智町で生きていくみなさんを守り、幸福を追求していくことが第一。一生懸命がんばっている人たちが地域を



町で生きる人の幸福追求が第一

援したい。私は、未来への可能性と潜在力がこの町にあることを確信しています。厳しい現実から目をそらさず、かつ夢と理想を忘れず、実効性のある町政を町民のみなさんとともに進めます。
「子どもを産み育てやすい町」「学ぶ力と生き抜く力をはぐくむ町」「老後の安心や生きがいが見える町」「家族が、地域が、故郷が、心と心でつながる町」の実現のため、全身全霊をもって取り組んで参ります。町民のみなさんには、ぜひ私を信じ、私が信じている福智町の可能性を信じていただきたい。誰にもチャンスがあり、夢に挑戦できる町を創る。やさしく、たくましく、誇りある福智町を、一緒に築いていきましょう。

First Day 就任初日



初登庁

玄関前に集まる職員の手拍りに迎えられて初登庁。感謝と決意の言葉を伝え、町政2期目の第一歩を踏み出しました。



職員辞令交付式

昇格や異動、採用職員に対して辞令を交付し、各職務に任命。法により新規職員は町長の面前で服務を宣誓します。

就任挨拶

「真剣に町や地域と向き合い、住民のみなさんの期待に応え、職員としての誇りを持って日々の業務に励んでほしい」と激励。



教職員辞令交付式

方城支所で行われた教職員の辞令交付式に出席。新たに着任した教職員に向け、目指す教育への熱い思いと期待を込めたメッセージを贈りました。